

05 滋賀大学

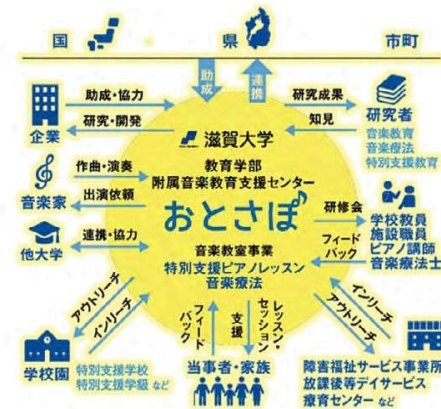
ダイバーシティ教育の推進と 障害児者のための音楽教育支援センター「おとさぽ」の創設

ユニークで先進的な取組—音楽を生きる力に—

滋賀大学は、障害とともに生きる方々が生涯にわたって音楽に親しむ機会を提供するために、令和2年10月に障害児者を主な対象とした教育学部附属音楽教育支援センター（愛称：おとさぽ）を篤志により開設した。全国でも珍しい、障害児者を主な対象とした音楽教育センターである。

令和5年度は、文化庁委託事業「令和5年度障害者等による文化芸術活動推進事業」として、滋賀県内の特別支援学級など16校を巡る大規模な学校訪問コンサートを開催し、実施校から高い評価を得ている。

さらに、個別のニーズへの細やかな対応を目指した特別



社会連携イメージ図

支援ピアノレッスンや音楽療法、音楽教育の指導者向け研修会、センター内にあるギャラリーでのアール・ブリュット展の開催など、多岐にわたる活動を実施。

「おとさぽ」は、大学の人的・知的資源を活かした社会貢献の場として、学生の実習やボランティアの場として、滋賀大学が重点を置くダイバーシティ教育の社会に開かれたコモンズとなっている。

成果・評価

ユニークな活動が評価され、障害者の生涯学習支援活動に係る文部科学大臣表彰、日本音楽療法学会日野原賞、日本アートマネジメント学会賞を受賞。



障害に関係なく楽しめるコンサート

文化庁の委託や財団法人からの助成を得て、積極的に事業を展開。今年度は3,000人以上の人々に音楽を届けている。

おとさぽ HP：
<https://www.otosapo.com>

